

《専門教育科目 専門基礎科目》

科目名	幼児と健康				
担当者氏名	荘司 泰弘				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択必修	開講年次・開講期	1年・秋期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎ 専門基礎-5 指導・保育の専門性				

《授業の概要》

健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活をつくり出す力を養うを目的とする保育内容領域「健康」の指導の基盤となる知識・技能を身につける。具体的には、幼児の心身の発達、基本的な生活習慣、安全な生活、運動発達等において、幼児期の特徴や意義を理解し、どのように指導方法に関連しているかを考察する。

《授業の到達目標》

1. 健康の定義と幼児期の健康に関する課題を理解する。
2. 幼児期の基本的な生活習慣の意義とその育成を理解する。
3. 幼児の安全な生活と病気の予防について理解する。
4. 幼児期の運動発達の特徴と多様な動きを獲得することの意義とその援助を理解している。

《成績評価の方法》

評価は、平常点 10%、提出物 45%、期末テスト 45%によって総合的に評価する。

《テキスト》

幼保連携型認定こども園教育・保育要領
https://www.mhlw.go.jp/web/t_doc?dataId=00010420&dataType=0&pageNo=1

《参考図書》

幼稚園教育要領（平成29年告示文部科学省）、幼稚園教育要領解説（平成30年文部科学省）、保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領（平成29年文部科学省・厚生労働省・内閣府）、幼児期運動指針ガイドブック—毎日、楽しく体を動かすために—（文部科学省）

《授業時間外学習》

ムリをしない範囲で乳幼児と関わりましょう。

《備考（教員経験の有無）》

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	第1回	保育内容・領域「健康」の基本的理解
2	第2回	健康の定義と幼児期の健康に関する課題
3	第3回	幼児の健康・安全な生活と保健指導
4	第4回	幼児の身心の発育・発達と関わり方
5	第5回	基本的な生活習慣とは
6	第6回	幼児期の基本的な生活習慣の育成 ①—起床・入眠、清潔、着衣、脱衣
7	第7回	幼児期の基本的な生活習慣の育成 ②—食事・食育、排泄
8	第8回	幼児期の感染症、生活習慣病について—病気の予防
9	第9回	幼児の体力測定の方法や評価法
10	第10回	幼児期の安全教育、安全管理—園内・園外活動時の留意点と対応
11	第11回	幼児の安全への意識や態度を育む安全教育
12	第12回	幼児期の運動発達の特徴—幼児期運動指針と「多様な動き」
13	第13回	遊びとしての運動と活動機能援助
14	第14回	体を動かす活動と生活の関わり
15	第15回	授業のふり返り・まとめ 定期試験